

日本共産党

森本ふみお

後援会ニュース

2007年
8月20日

No52

日本共産党森本ふみお後援会事務所

井原市木之子町2721-23

TEL62-6061 FAX62-6081

参議院議員選挙の結果について

7月29日に投・開票された参議院議員選挙で、日本共産党は比例代表選挙で3議席を獲得しました。これは、改選4議席に対して1議席減の結果になりました。日本共産党に支持をお寄せいただいた有権者のみなさん、しんぶん赤旗読者、後援会員、支持者のみなさんに心から感謝いたします。

選挙戦全体では、安倍内閣、自民・公明与党にきわめてきびしい審判が下されたことが際立った特徴です。これは、有権者が、自民・公明の枠組みでは日本の前途はない、と判断した結果といえます。

日本共産党は、自公政治に対するこの国民的審判のうえで、自公政治に正面から対決する「たしかな野党」として一定の役割をはたしえたことを確信しています。

新たに迎える政治的激動において、日本共産党の役割はいよいよ重要なものになるでしょう。日本共産党はこの選挙で掲げた公約を実現するため、国会や地方議会内外で力をつくします。



日本共産党は次の4つの原則を堅持して奮闘することをお約束いたします。

- 第1：どんな問題でも国民の利益を守る立場にたち、一步でも二歩でも国政を動かすために奮闘します。
- 第2：自民・公明の暴走と巻き返しを許しません。
- 第3：国会内で一致点での野党共闘に積極的にとりくみます。
- 第4：どんな問題でも、草の根での共同をいっそう強めます。

今後も日本共産党に大きなご支援、ご援助のほどよろしく願いいたします。

井原市政に対するご意見・ご要望をお寄せください。

9月10日(月)から井原市議会9月定例会が開会します。この市議会に向け、現在、皆様の声を聞きながら質問の準備をしています。

また、市の新年度予算編成にあたり、市に皆様のご意見・ご要望を予算編成に取り入れていただくため、日本共産党として毎年「要望書」を市長に提出しています。

皆様のご意見・ご要望が1つでも多く実現するよう奮闘したいと考えています。皆様の井原市政に対するご意見・ご要望を、お近くの党員か下記の電話等にお気軽にお寄せください。

| | | |
|-------------|---------------|---------------|
| 日本共産党後援会事務所 | TEL 62 - 6200 | FAX 62 - 6209 |
| 森本ふみお宅 | TEL 62 - 6061 | FAX 62 - 6081 |
| 石井 敏夫宅 | TEL 62 - 4667 | FAX 62 - 4726 |

周りの人に「日本共産党森本ふみお後援会」への入会をお勧めください。

Q & A 日本共産党 知りたい・聞きたい 日本共産党のHPより

美空ひばりが大切にした反戦の歌とは？

問い 美空ひばりが広島で反戦歌をうたったことがあると聞きました。どんな歌ですか？（宮城・一読者）

答え 美空ひばりは1500曲余の持ち歌の中で、反戦の思いをこめた「一本の鉛筆」（詞・松山善三、曲・佐藤勝）という歌をととても大切にし、1974年の第1回と、亡くなる前年の第15回（88年）の2度、広島平和音楽祭にでて、うたっています。

「私は横浜に生まれました。幼かった私にもあの戦争の恐ろしさは忘れることはできません。これから二度とあのような恐ろしい戦争が起こらないよう、皆様とご一緒に祈りたいと思います。いばらの道が続こうと、平和のためにわれ歌う」

74年のときには、ひばりは、歌う前の口上でこう語って、一本の鉛筆があれば、愛や命、平和への思いを書くと、3日前に作られたばかりの曲を熱唱します。



ひばりが、生まれ育った横浜市磯子区でB29による空襲に遭ったのは、45年4月16日、7歳のときでした。鮮魚商を営んでいた父が出征したあと、母が苦勞してつくった自家用の防空壕（ごう）に入って難を逃れました。しかし、近所の家が焼夷弾（しょういだん）を浴びて燃え、撃墜されたB29が落下していくおそろしい体験をしました。ひばりは自伝に、「その夜の光景は、今でもありありと思い出す」と記しています。

18歳（55年）のときには、「今何が一番欲しいか」というインタビューに答えて、「この世界から戦争がなくなってほしい」と、いっています。女優の森光子さんに贈った色紙にも『いばらの道がつづこうと 平和のために我れ歌う！』と書いています。

87年、入院し、復歸が無理といわれていた中、ひばりは、ふたたび広島平和音楽祭に参加し、楽屋にベッドを持ちこんで点滴をしながらうたいました。

翌89年6月ひばりは永眠します。（享年52歳）

最後の放送となった89年3月のラジオ番組でも、自分で選んだ10曲に「一本の鉛筆」を入れ、広島平和音楽祭にも触れてこの曲を説明しました。（喜）

ご意見・ご要望および情報をお気軽にお聞かせください。